

尚徳福祉会 日野保育園 2019年6月

もうすぐ梅雨入り、憂鬱な季節ですね。大人にはうっとうしい時季でも、子供たちには、楽しくて不思議な雨のようです。履いてきた長靴を嬉しそうに見せてくれたり、園庭にできた水たまりを見て「かばくん」と、絵本のイメージを膨らませたりして眺めている姿があります。雨の日には保育室や廊下、事務所まで、遊びの場を広げて楽しんでいます。この季節に見られる自然や花、虫などに興味を持ち、さまざまな体験ができるように過ごしていきたいと思います。



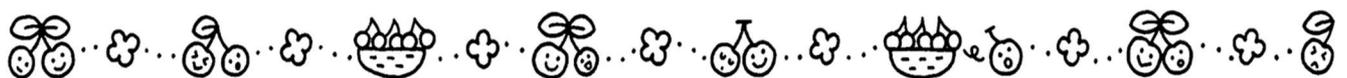
外遊び大好き！

天気の良い日には毎日、戸外で遊びます。「外に行って遊ぼう！」と誘うと、靴下を「ちょうだい」と指さしする子や「あけて」と入り口で催促する子、使っていた玩具を急いで片付ける子とさまざまですが、みんな外遊びが大好きです。シャボン玉を追いかけたり、斜面で電車を走らせたり、砂場では保育者が作ったお団子を手にとり、嬉しそうに微笑む姿も見られます。遊びに夢中になり、いつしか裸足で砂の感触を感じている子も多いです。もうすぐ泥んこや水遊びも始まります。砂や水の感触を全身で味わい、楽しんでいこうと思います。



じぶんで！！

少しずつ自我が芽生え、「自分でやりたい」という気持ちが強くなっています。靴下やズボンの脱ぎ着は、「じぶんでやりたい」、食事の時でも、「じぶんでたべるの！」とでも言うように、主張することはありますか？ 日々の中では忙しく大人がやってしまいがちですが、この時期の子どもの吸収力には保育者も驚かされるほどです。なるべく見守り、できたときにはたくさん褒めてあげたいものです。



おねがい

- ★気温差が激しいため、引き出しの中には長袖、半袖どちらも入れておいてください。
- ★シャワー用のタオルと衣類の補充を忘れずにお願いします。
- ★衣類や口拭きタオルなどのネームシールは剥がれると誤飲に繋がりますので、すべての持ち物に大きくはっきりと、名前をお書きください。